



集合場所の
ライブラリー
サロンにて



貴重書庫にて



閲覧室にて

平成 18 年度 石川県図書館大会のご案内

11月21日(火)、石川県図書館大会がかほく市で行われます。今年度のテーマは「図書館は役に立つ！ - 生涯学習の拡がり」と図書館の役割を考える -」です。

開会行事と記念講演(午前)の会場は、かほく市立河北台中学校講堂、部会討議(午後)は、かほく市七塚生涯学習センターです。



記念講演は、評論家の坪内祐三氏による「わたしと読書」です。

坪内祐三氏は昭和33(1958)年生まれ、

雑誌「東京人」の編集者を経て、文芸評論家として活躍され、『慶応三年生まれ七人の旋毛曲り』で講談社エッセイ賞を受賞されています。

午後は三部会に分かれて、社会の変化、電子技術の進歩の中での生涯学習の拠点として、魅力的な図書館サービスのあり方について討議します。

皆様のご参加をお待ちしています。

問合せ・申込み先

企画協力グループ

「石川県図書館大会事務局」まで

☎ 076(223)9581

芸術の秋

～ミュージアムウィーク協賛事業～

石川県では、県内の貴重な文化遺産に触れていただくための取り組みとして、「兼六園周辺文化施設活性化推進事業」を行っています。そのひとつ、「兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク」が10月1日(日)～8日(日)に行なわれ、当館でも複数の協賛事業を開催しました。

9月22日(金)から1階ライブラリーサロンにて始まったのが、「加賀路の芭蕉展」です。奥の細道の旅で、加賀路にいたった芭蕉の足取りを、紀行文、道中記、解説書等で実感していただく内容でした。立花北枝『卯辰集 下』や堀麦水『山中夜話』など、加賀の俳壇史上重要な資料も展示しました。



この展示に伴い、10月7日(土)10時から2階県民交流室において、俳文学研究者で加賀の千代女研究の第一人者である、山根公先生による講演「金沢に來た芭蕉」が開催されました。

* * * * *

「おはなし玉手箱 ～紙しばいを楽しもう～」

10月3日(火)「のまりん」こと、野間成之氏を講師に、「おはなし玉手箱 ～紙しばいを楽しもう～」を行いました。拍子木が打ち鳴らされ、紙しばいのはじまり、はじまり!!講師の力強く、ユーモアあふれた語りに、子どもも大人も笑い声をあげ、子どもたちは講師と楽しげに言葉を交わし、くいいるように紙しばいの場面を見つめていました。何回ものアンコールに「なにが面白いかな」と野間氏も次々と語ってくださいました。80余名の参加者は秋の日差しがさしこむ中、楽しいひと時を過ごしました。

山根先生の熱のこもったお話に、出席の方々から、芭蕉の当時の足跡をわかりやすくたどることができたと、大変好評でした。



芭蕉の句を読み上げる山根氏

今回は展示スペースの関係でご紹介できませんでしたが、当館には「月明文庫」をはじめ、貴重な俳書がたくさんあります。目録等でご確認いただき、ぜひご覧ください。

また、10月1日(日)から特別展示「資料で見る石川の人間国宝展」も始まりました。人間国宝(重要無形文化財保持者の通称)が制定されて50年、石川県からは、松田権六(蒔絵) 魚住為楽(銅鑼)、前大峰(沈金) 木村雨山(友禅)など多くの人間国宝が輩出されています。色鮮やかな作品集などで、伝統工芸国石川のわざを、堪能していただけたらと思います。

両展示につきましては、10月30日(月)までの期間にたくさんの方にご来館いただき、ありがとうございました。

* * * * *

「図書館探検ツアー」

10月7日(土) 8日(日)に「図書館探検ツアー」を行い、40名余りの方に館内をご案内しました。ふだんは利用者の方が入れない書庫や貴重書の紹介、閲覧室の利用者端末の説明など1時間ほどのコースでしたが、参加された方から熱心な質問や、「もっと時間をかけて案内してほしい」といった要望がよせられました。当館としては初めての試みでしたが、図書館をもっと知っていただくために、今後も行いたいと考えております。その時は、どうぞ、ご参加ください。

**平成18年度第1回講座『加能史料』はいま
- 家紋の表象性と武家の肖像 -
講師 拓殖大学名誉教授 加藤 秀幸 氏**

去る、平成18年7月12日(水)、石川県立生涯学習センターにおいて、「平成18年度第1回講座『加能史料』はいま」を開催いたしました。

講師にお招きした、拓殖大学名誉教授の加藤秀幸先生は、東京大学史料編纂所で長く史料編纂にたずさわられ、現在も、武具や馬具研究の第一人者としてご活躍されています。

今回の講演では、「家紋の表象性と武家の肖像」と題し、多くの方が“武田信玄”と思っているあの有名な肖像画が、実は武田信玄ではなく、能登の守護、畠山義統であった、という興味深いお話をしていただきました。先生は、肖像画に描かれた衣服や武具などの紋章、構図や添状、またその伝来などをもとに、伝武田信玄像とされる、その真の像主を明らかにされました。

講演では、肖像画を有職故実的視点から研究する有効性を語られ、その研究過程を噛み砕いたかたちで解説してくださいました。

スライドフィルムを使用しての講演により、受講生の方々の理解が深まり、皆さん興味深く聞き入っていました。

金沢会場(石川県立生涯学習センター)では、県民大学校大学院生を含め169名、テレビ会議システムを用いた加賀会場(加賀市立中央図書館)と能登会場(石川県立生涯学習センター能登分室)では、26名が受講されました。



* 講演中の加藤秀幸先生 *



* 加藤先生の話に聴き入る受講者の皆さん *

また今年度、第2回目の講座を、12月2日(土)に開催いたします。講師には、国立歴史民俗博物館共同研究・連携研究員の酒井茂幸先生をお招きし、「能登畠山氏の文芸活動」と題して講演していただきます。

酒井先生は中世の文芸史がご専門で、「二条派和歌の研究」の論文題目で早稲田大学から博士(文学)の学位を授与され、現在新進の研究者として第一線で活躍しておられます。

能登畠山氏の文芸活動については、これまでも多くの研究がなされてきましたが、畠山義忠(?~1463)の歌集については、あまり知られていませんでした。今回の講演では、その歌集の紹介を含め、畠山氏の文芸活動についての新たな事実を知る機会になると思われます。皆さま、大いにご期待ください。たくさんの方のご来場を心よりお待ちしております。

**・ ・ ・ 次回案内 ・ ・ ・
平成18年度第2回講座『加能史料』はいま
- 能登畠山氏の文芸活動 -**

講師 酒井 茂幸 氏

(国立歴史民俗博物館共同研究・連携研究員)

日時 12月2日(土) 14:00~16:00

場所 県立生涯学習センター 3階 大会議室

定員 200名 受講費用 無料

申込み期間・方法

11月2日~12月2日

はがき又は電話で、定員に達し次第締め切ります

申込み先 石川県立図書館史料編さん室

〒920-0964 金沢市本多町3-2-15

☎076-223-9579

